

駒場Ⅰキャンパス 防災訓練

平成29年10月23日(月) 12:00～(2限)

すべての **学生** **教員** **職員**

10/23(月)12:00に

駒場Ⅰキャンパス内
防災訓練の
対象となります

駒場Ⅰキャンパス外
残念ながら
対象外です

緊急地震速報(訓練)
12:00 震度6弱の地震発生
約30秒間揺れが継続

(雨天も実施)

12:00～ 初期対応(初期の安全行動) 全員

学生・教員・職員は、身の安全を確保(かばん等で頭部を保護)
教員は、授業・研究指導を中止し、安全確保を学生に指示

避難訓練 5号館・7号館・講堂・アドミニ棟
(雨天中止)

12:01 頃 避難指示の放送
教員の指示のもと、
学生は一次避難場所(建物外)へ避難



12:10 頃 一次避難場所(建物外)にて
学生は教員に**安全カード**を提出し訓練終了
教員は**安全カード**の枚数を数える

12:15 頃 集計場所(18号館西広場ほか)
教員は**安全カード**を届けて枚数を報告、終了

5号館・7号館・講堂・アドミニ棟以外
12:05頃 訓練終了(放送予定)

3限からは通常授業!

12:55～ アドミニ棟正面玄関にて
・消火訓練(希望者のみ、雨天も実施)
・賞味期限が近い保存水の在庫を配付予定
・安否確認システムで安否確認を実施! 要返信!

事前説明会(10月に3回)

駒場 I キャンパス 防災訓練について

来る平成 29 年 10 月 23 日（月）12:00（2 限終了 10 分前）から、全ての学生、教員、職員を対象にして、大規模地震に備えた防災訓練を実施します。業務に支障のない範囲でご参加ご協力をお願いいたします。また、3 限からは通常授業となりますが、避難訓練によって学生が授業に遅れてきた場合にはご配慮いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

■事前説明会の開催（場所：5 号館 518 教室） ぜひご参加ください！

第 1 回 10 月 2 日（月） 12:20 – 12:50 （昼休み）

第 2 回 10 月 6 日（金） 12:20 – 12:50 （昼休み）

第 3 回 10 月 16 日（月） 12:20 – 12:50 （昼休み）

※防災訓練の実施要領（日本語版・英語版）を、教養学部ウェブサイト（防災のページ）に掲載済です。

■【全学生・全教職員】12:00 初期対応訓練（雨天決行）

12:00 に、震度 6 弱の地震を想定した緊急地震速報が流れます。全学生と全教職員は、授業や研究等を中断して、約 30 秒間、かばんなどで頭部を保護し、身の安全を確保してください。また、ドアを開けて脱出経路を確保し、可能であれば、机の下などの安全な場所に避難してください。

■【5 号館・7 号館・講堂・アドミニ棟以外】12:05 訓練終了

5 号館、7 号館、講堂とアドミニ棟以外には、12:05 に訓練終了の放送が流れます。放送が聞こえない場合でも 12:05 で訓練終了とし、2 限の授業を再開してください。

■【5 号館・7 号館・講堂・アドミニ棟のみ】12:01 頃 一次避難場所への避難（雨天中止）

5 号館、7 号館、講堂とアドミニ棟にいる学生と教職員は、建物外に出る避難訓練を行います。12:01 頃に、5 号館、7 号館、講堂とアドミニ棟には避難指示の放送が流れます。教室ごとの避難経路は廊下などに掲示しておき、避難場所には目印を設置しておきます。教員の指示のもと、学生は荷物を持ち、建物外にある一次避難場所へ避難します。教員は、教室から学生が全員退出したことを確認後、最後に退室してください。一人での避難が困難な学生がいましたら、他の学生や教員のご協力をお願いします。

■【5 号館・7 号館・講堂・アドミニ棟のみ】12:10 頃 安否確認の実施（雨天中止）

建物外に避難後、学生が教員（どの教員でもよい）に「安全カード」という紙を提出することによって安否を確認します。これで学生は訓練終了です。安全カードは、5 号館、7 号館、講堂で月曜 2 限に授業を担当される教員に事前に配布しますので、履修学生に配布してください（氏名等を記入）。教員は、集まった安全カードの枚数を数えて（事前に配布した）封筒に入れ、封筒の表面に枚数を記入します。この封筒を、各号館外にある集計場所に提出して訓練終了です。

■【希望者のみ アドミニ棟前にて】12:55～ 消火訓練（雨天決行）

希望者についてのみ、12:55 からアドミニ棟の正面玄関前にて、消火器の操作方法を習う訓練を行います。また、賞味期限が近い保存水の在庫を、希望者に配布する予定です。

■【全学生・全教職員】14:45～ 安否確認システムによる安否確認

ご不明の点がございましたら、経理課 施設係（facilities@adm.c.u-tokyo.ac.jp）までご連絡ください。

平成29年度 駒場Iキャンパス 防災訓練実施要領

総合文化研究科・教養学部
防災委員会・防災WG

学生・教職員の皆様に行っていただきたい部分は、
この色のボックスで囲んであります。

防災訓練の概要

駒場Iキャンパスにいる全学生・全教職員を対象に、
授業時間中に大掛かりな防災訓練を実施します。

日時： 平成29年**10月23日(月)12:00～**（2限終了10分前から）
大規模地震を想定した防災訓練を実施（本部と同時開催）

12:00	(1) 初期対応訓練 （ 全員 ）
12:01	(2) 避難訓練 （5号館・7号館・講堂・アドミニ棟）
12:55	(3) 消火訓練 （希望者のみ）

場所： 駒場Iキャンパス全体（数理・コミプラ等も含む）

参加者： 訓練実施時に駒場Iキャンパス内にいる全学生と全教職員

業務に支障のない範囲で、防災訓練へのご協力・ご参加をお願いします。

防災訓練の目的

- ・防災教育
- ・危機管理 これらの観点から、防災訓練の実施が必要
- ・消防法

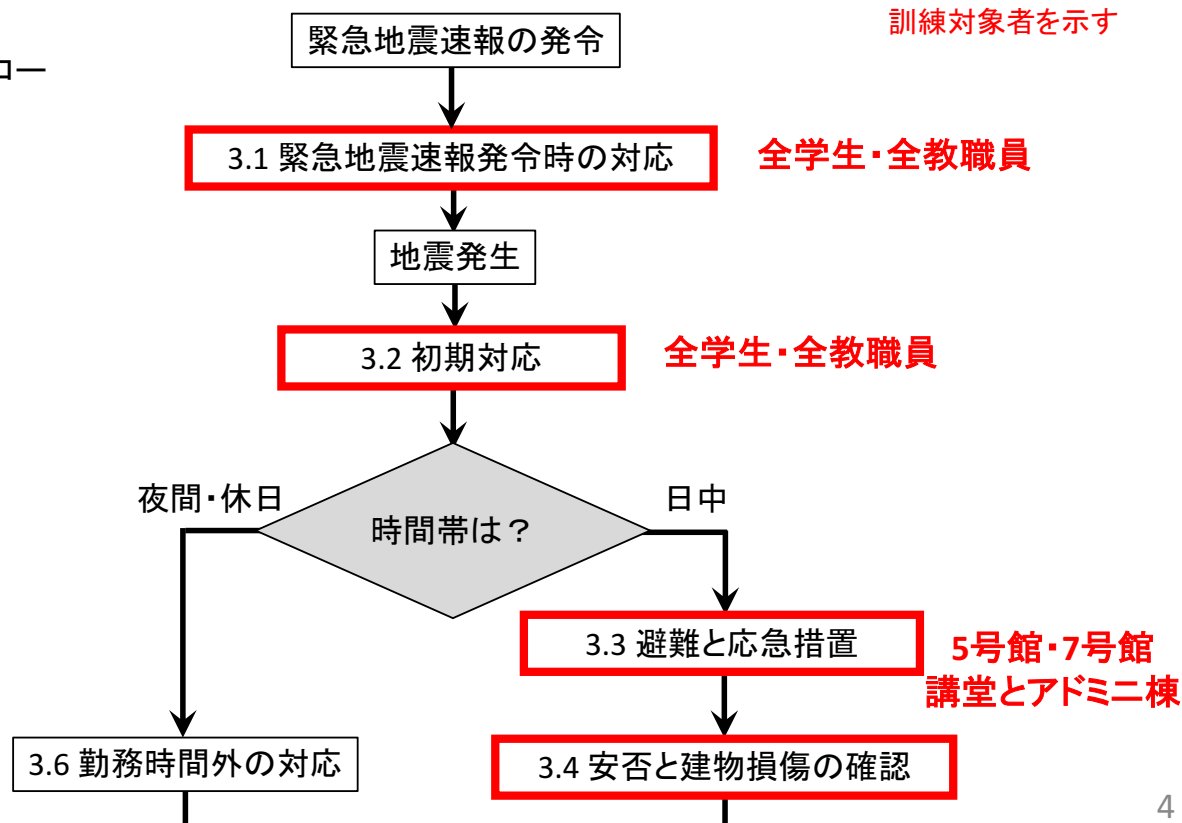
教養学部ウェブサイトに掲載されている「駒場Iキャンパス防災マニュアル」(<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/faculty/bosai/>)には、地震発生時の対応として、次の4ページにまとめた内容が記載されています。これら全ての内容を、全学生・全教職員で訓練することが理想的です。しかし駒場Iキャンパスの構成員の数は膨大なため、今回は初期対応訓練のみを全員で行い、避難訓練と安否確認訓練は5号館、7号館、講堂とアドミニ棟のみで行うこととしました。今後、避難訓練と安否確認訓練を実施する建物をローテーションで変えていくことにより、できるだけ多くの学生・教職員が避難訓練と安否確認訓練を体験できるようにしたいと考えております。

3

駒場Iキャンパス 防災マニュアルより(教養学部ウェブサイトに掲載)

3. 地震発生時の対応

作業フロー



4

事前の準備 教員・学生(5号館・7号館・講堂 月2限)

事前に、**学生に安全カード**と「訓練について」の文書**を配布**

事務 → 教員(5号館・7号館・講堂 月2限担当)

学内便等により、教室の座席数分(履修者数より多め)をお渡しいたします。

教員(5号館・7号館・講堂 月2限担当) → 履修学生

- ・ **学生に1部ずつ配布**してください。
- ・ 安全カードに**学生証番号と氏名を記入**するようお伝えください。
- ・ 事前に配布してくださっても構いません。
- ・ **訓練当日に安全カードを持参**するよう、学生に周知願います。
- ・ 当日忘れた学生には、再配布をお願いします。

9

事前の準備 教員・学生(5号館・7号館・講堂 月2限)

事前に、**学生に安全カード**と「訓練について」の文書**を配布**

(学生用)

氏名・学籍番号を記入

避難場所 本キャンパスでは、避難場所が以下の通り指定されています。 ：建物ごとに指定されている避難場所、各号館の前の広場等が指定されています。各号館の玄関付近に、一次避難場所の位置が記載されています。 ：一次避難場所に留まることが危険な場合に避難する場所で、ラグビー場が指定されています。  ・一次避難場所については、普段から場所を確認しておいてください。 ・一次、二次避難場所へは、その場にいる教員、職員の指示に従って移動してください。	災害対応 ポケットマニュアル 駒場Iキャンパス 学生版  パーソナルメモ 氏 名 所 属 (学籍番号) 学 年 (学部・修士・博士) 年 ※詳しくは、[東京大学環境安全本部HP]にて公開されている防災対策スライドをチェックしてください。  平成26年3月作成
---	--

2ツ折、名刺よりやや大きいサイズ

10

訓練当日の流れ①

10:25 ～ 2限授業開始時

教員(月2限担当)

- ・12:00から防災訓練を実施することを学生に周知願います。

教員(月2限担当)(5号館・7号館・講堂のみ)

- ・安全カードを確認(持参していること、記名済みであること)。
- ・安全カードを持っていない学生に再配布をお願いします。
- ・一次避難場所と出口を事前に学生にお伝えください。

11:58 防災訓練 事前アナウンス (全員)

「駒場Iキャンパスを対象とした防災訓練を開始します」

12:00 緊急地震速報 (NHKチャイム音) (全員)

震度 6弱の揺れが30秒間続くことを想定

11

訓練当日の流れ②

12:00 緊急地震速報 (NHKチャイム音) (全員)

震度 6弱の揺れが30秒間続くことを想定

12:00 **初期対応 (全学生・全教職員) (雨天でも実施)**

- ・授業や研究活動等を中止する
- ・揺れている間は動かない
- ・かばんなどで頭部を保護
- ・可能ならば机の下へ隠れる
- ・ドアを開けて脱出口を確保

地震速報後
約30秒間

(5号館・7号館・講堂・アドミ二棟のみ)

12:01頃 避難指示のアナウンス

(5号館・7号館・講堂・アドミ二棟以外)

12:05頃 訓練終了のアナウンス、2限授業を再開

8

訓練当日の流れ③ 5号館・7号館・講堂

12:01頃 避難指示のアナウンス

「安全を確認しながら、各建物の一次避難場所に移動してください」

12:01頃 一次避難場所(建物外)への避難 (雨天中止)

教員(月2限担当)(5号館・7号館・講堂)

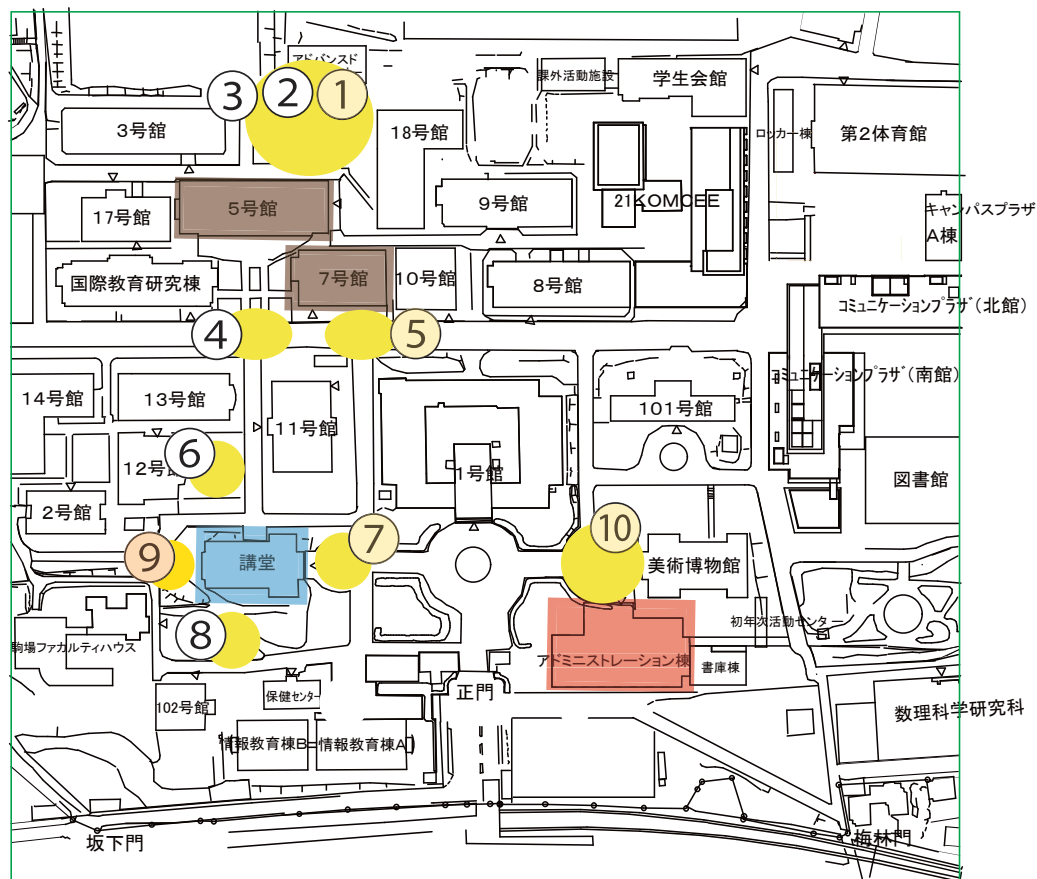
- ・「荷物を持って指定の出口から避難場所に移動する」ように学生に伝える。
- ・全学生が出たことを確認してから、最後に教室を出る。
- ・一人での避難が困難な学生を、学生・教員と一緒に助ける。

学生(月2限)(5号館・7号館・講堂)

- ・荷物を持って、指定の出口から避難場所に移動する。
- ・一人での避難が困難な学生を、学生・教員と一緒に助ける。

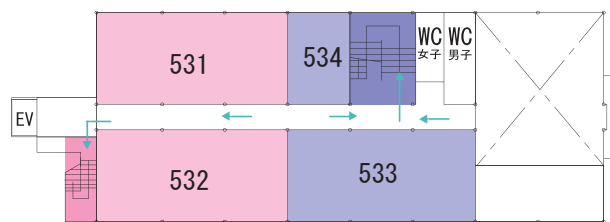
13

一次避難場所 (5号館・7号館・講堂・アドミニ棟)

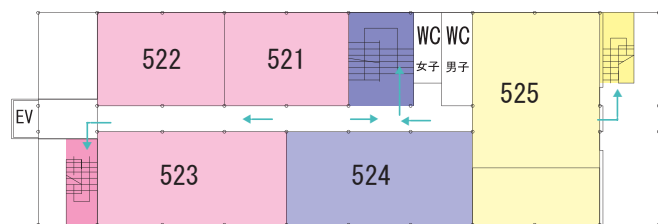


14

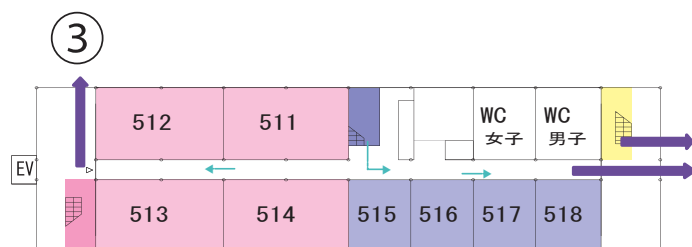
一次避難場所（5号館）



5号館 3階 732㎡ S=1/300



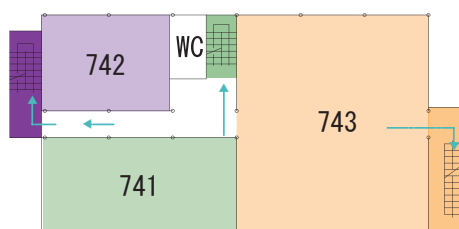
5号館 2階 984㎡ S=1/300



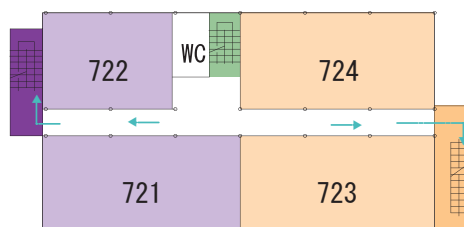
教室ごとに、
避難場所と出口を
決めてあります

当日、掲示予定

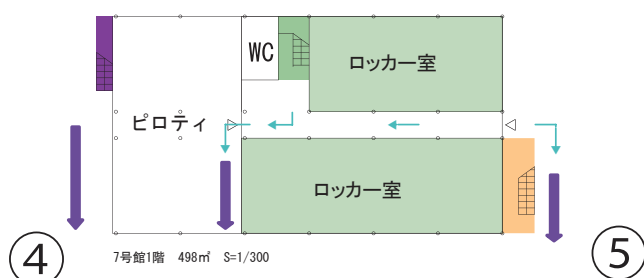
一次避難場所（7号館）



7号館3階 744㎡ S=1/300



7号館2階 744㎡ S=1/300

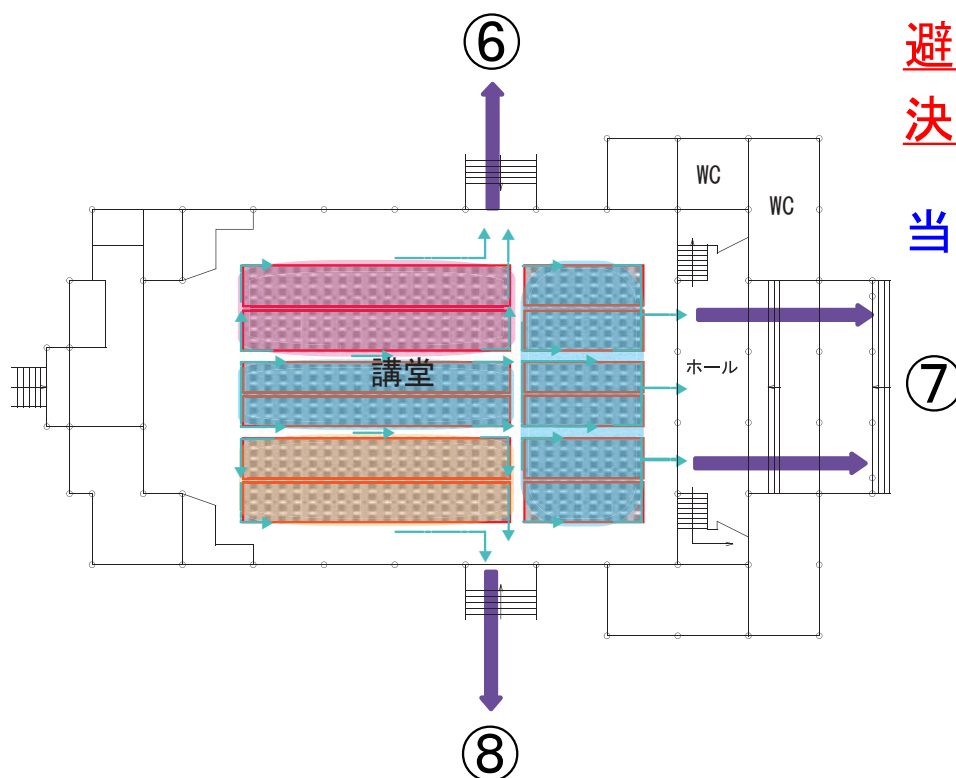


7号館1階 498㎡ S=1/300

教室ごとに、
避難場所と出口を
決めてあります

当日、掲示予定

一次避難場所（講堂）



教室ごとに、
避難場所と出口を
決めてあります

当日、掲示予定

14

訓練当日の流れ④ 5号館・7号館・講堂

避難後～ **安否確認（安全カードの回収）（雨天中止）**

学生（月2限）（5号館・7号館・講堂）

12:10頃 教員に安全カードを提出して、訓練終了
※どの教員に提出してもOKです。

教員（月2限担当）（5号館・7号館・講堂）

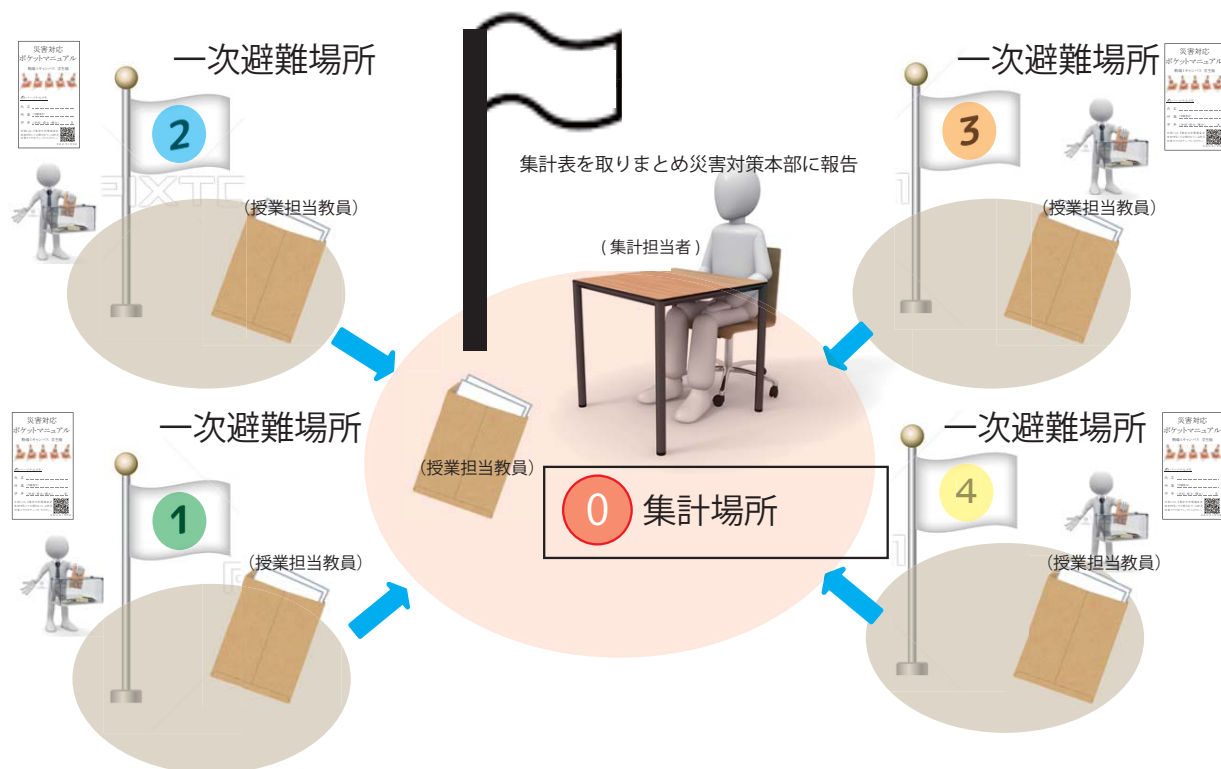
12:10頃 ・避難した学生から安全カードを回収し、封筒に入れる。
※他の授業の学生のカードでもOKです。

・カードの枚数を数え、封筒に枚数を記入する。
12:15頃 ・各号館外の集計場所に封筒を提出して訓練終了

12:30頃 5号館・7号館・講堂に訓練終了のアナウンス
13:00 3限の授業開始

15

安否確認(安全カード提出)のイメージ



16

訓練当日の流れ⑤ 3限からは通常授業

※避難訓練への参加によって学生が3限の授業に遅れた場合には、この日だけのご配慮いただけるよう、お願いいたします。

12: 55 **消火訓練 (希望者のみ) (雨天でも実施)**

アドミニ棟前(教職員用入口)に集合してください。

消火器の使用方法を学び、水が入った消火器で試す。

※参加者には、賞味期限が近い保存水を配布します。

14: 45頃 **安否確認システムによる安否確認テスト (全員)**

- ・安否確認システムにより、安否確認のメールを送信します。
- ・メールに記載のURLリンクをクリックすることにより、安否を報告してください。

17

訓練当日の流れ⑥ 事務職員関係

事務職員(下記担当以外)

- 12: 00 初期対応(全員) かばんなどで頭部を保護
- 12: 01頃 一次避難場所(アドミニ棟前)に避難する
- ~12: 20頃 安否確認(安全カードの回収)

5号館・7号館・講堂避難要員

- ・保安員 : 避難訓練の間、号館内を巡回し、防犯に努める。
- ・避難誘導員: 一次避難場所周辺で、避難誘導などを行う。
- ・集計担当者: 各号館外の集計場所で、教員から、安全カード入りの封筒を受け取る。合計枚数を災害対策本部に連絡する。

災害対策本部(研究科長・副研究科長(総合文化・数理)、研究科長補佐、環境安全管理室長・副室長、広報委員長、緊急対応教職員、建物応急危険度判定士、自衛消防隊員)

- 12: 01~ アドミニ棟前に設置(震度6弱なので自動参集)
- ~12: 30 安否確認集計結果の報告を受ける

訓練対象者について

訓練対象者は駒場Iキャンパスにいる全学生、全教職員です。大学院生、研究員、事務職員等も含みます。**業務に支障のない範囲で、訓練にご協力・ご参加いただきたくお願いいたします。**

実際に地震が発生したときには、実験等は中止し、揺れが収まったら火を消すなどの対応をすることになります。しかし、今回の**防災訓練時に学生実験等を実施中の場合**、火を消したり、安全な場所に隠れたりする訓練を行うと実験に支障を来す可能性があります。その際には、実験担当の教員(および学生)に訓練内容のご検討をお任せいたします。実験を継続していただいても構いません。ただし、特に安全行動の訓練を行わない場合であっても、「もし本当に地震が来たときには、実験を中止し、ドアを開けて脱出口を確保し、かばん等で頭部を保護する必要がある」ということを、授業等の開始時に学生たちに周知していただき、訓練用の緊急地震速報が聞こえたら、そのことを学生たちに思い出してもらえよう、ご指導をいただけましたら幸いです。

その他の業務においても、訓練に参加することによって業務に支障を来す場合には、各教職員・各学生の判断で、業務に支障のない範囲でのご参加をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。